

特集

人格形成の基礎を培うために

# 高梁市の就学前教育

「就学前教育」とは、小学校に就学する前に行う教育のことで、次代を担う子どもたちが人として心豊かにたくましく生きる力を身に付けられるよう、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っています。

今回は、市の就学前教育の現状と、市教育委員会学校教育課に昨年度新設された「就学前指導係」の取り組みについてお伝えします。

☎ 学校教育課 ☎ (21) 15118



## 就学前教育の役割とは

近年、子どもたちを取り巻く生活状況は、少子化や核家族化、情報化などにより大きく変化しています。その中で、子どもたちが未来の社会を生きていくためには、これから経験するであろう多くの課題に対処していく力を培う必要があります。便利になった現代社会では、子どもたちに必要な「生活体験」が不足していることから、それを補う「就学前教育」の役割が注目されています。

こうした状況を受け、平成29年に国の指針となる「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」「幼稚園教育要領」が改定され、保育園、認定こども園、幼稚園の全施設が就学前教育を行う施設として位置付けられました。

また、社会が目まぐるしく変化する中で子どもたちが主体的に生きていく力を育むため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」という目標が新たに設定され、どの園でもその目標に向けて「学び」を実現していくことが求められています。